



NISSAY

2023年度第3四半期 業績の概要

2024年2月16日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ

保険料等収入


 6兆4,331億円

(うち保険料5兆4,285億円 再保険収入1兆45億円)

〔 前年同期比+39.5% 〕

- 日本生命、ニッセイ・ウェルス生命の一時払商品の販売増を主因に増収

基礎利益


 4,821億円

〔 前年同期比+64.9% 〕

- 新型コロナウイルス感染症に係る給付金支払の減少等による危険差益の増加を主因に増益

新契約年換算保険料


 3,921億円

〔 前年同期比+35.7% 〕

- 日本生命、ニッセイ・ウェルス生命の一時払商品の販売増を主因に増加

保有年換算保険料


 4兆7,112億円

〔 前年度末比+2.5% 〕

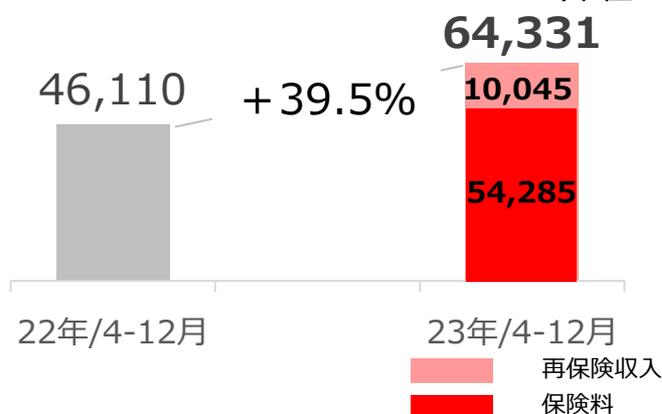
- ニッセイ・ウェルス生命の増加を主因に前年度末比で増加

個人保険・個人年金保険

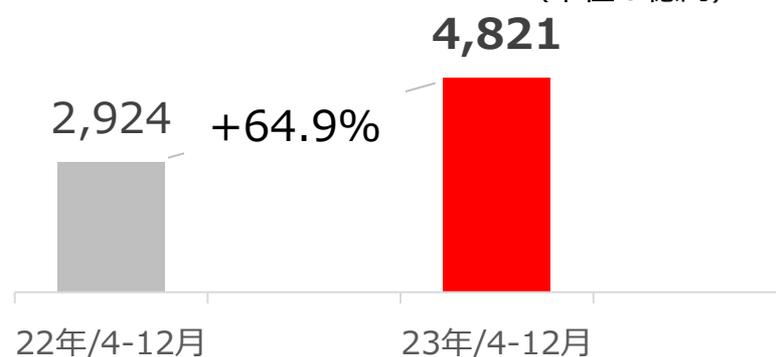
国内生命保険

② 保険料等収入・基礎利益

保険料等収入 (単位：億円)



基礎利益 (単位：億円)



	2023年 4-12月	前年同期比
保険料等収入	64,331	+ 39.5%
保険料	54,285	+ 23.8%
再保険収入	10,045	+ 345.5%
日本生命	38,577	+ 15.9%
大樹生命	7,278	+ 7.8%
ニッセイ・ウェルス生命	16,236	+ 296.1%
はなさく生命	269	+ 70.7%
MLC	1,632	+ 6.2%

	2023年 4-12月	前年同期比
基礎利益	4,821	+ 64.9%
利差益	1,455	▲ 21.3%
保険関係損益	3,272	+ 218.7%
日本生命	4,563	+ 40.9%
大樹生命	56	▲ 47.6%
ニッセイ・ウェルス生命	248	(+542億円)*
はなさく生命	▲ 140	+ 20.2%
MLC	54	+ 5,577.1%

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引の調整等を行い算出

※ 利差益および保険関係損益は国内生命保険の合計

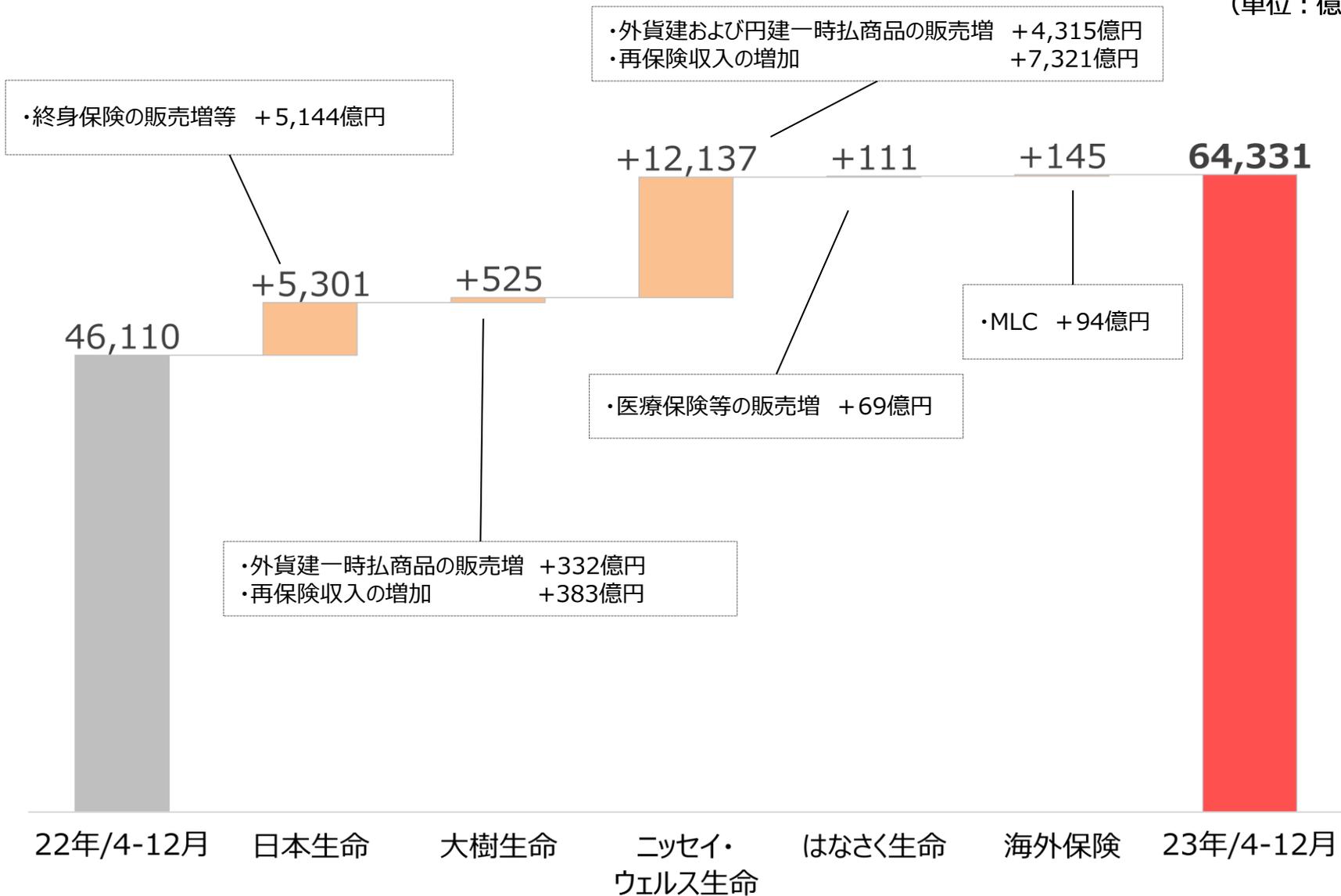
※ 子会社の数値は、対象年度当時の持分比率に基づいて算出

※ MLCの数値は、当年度・前年度ともに新会計基準適用数値

* 当年度と比較対象年度の数値が異符号のため、増減率算出不可。括弧内数値は前年同期比の増減額を記載

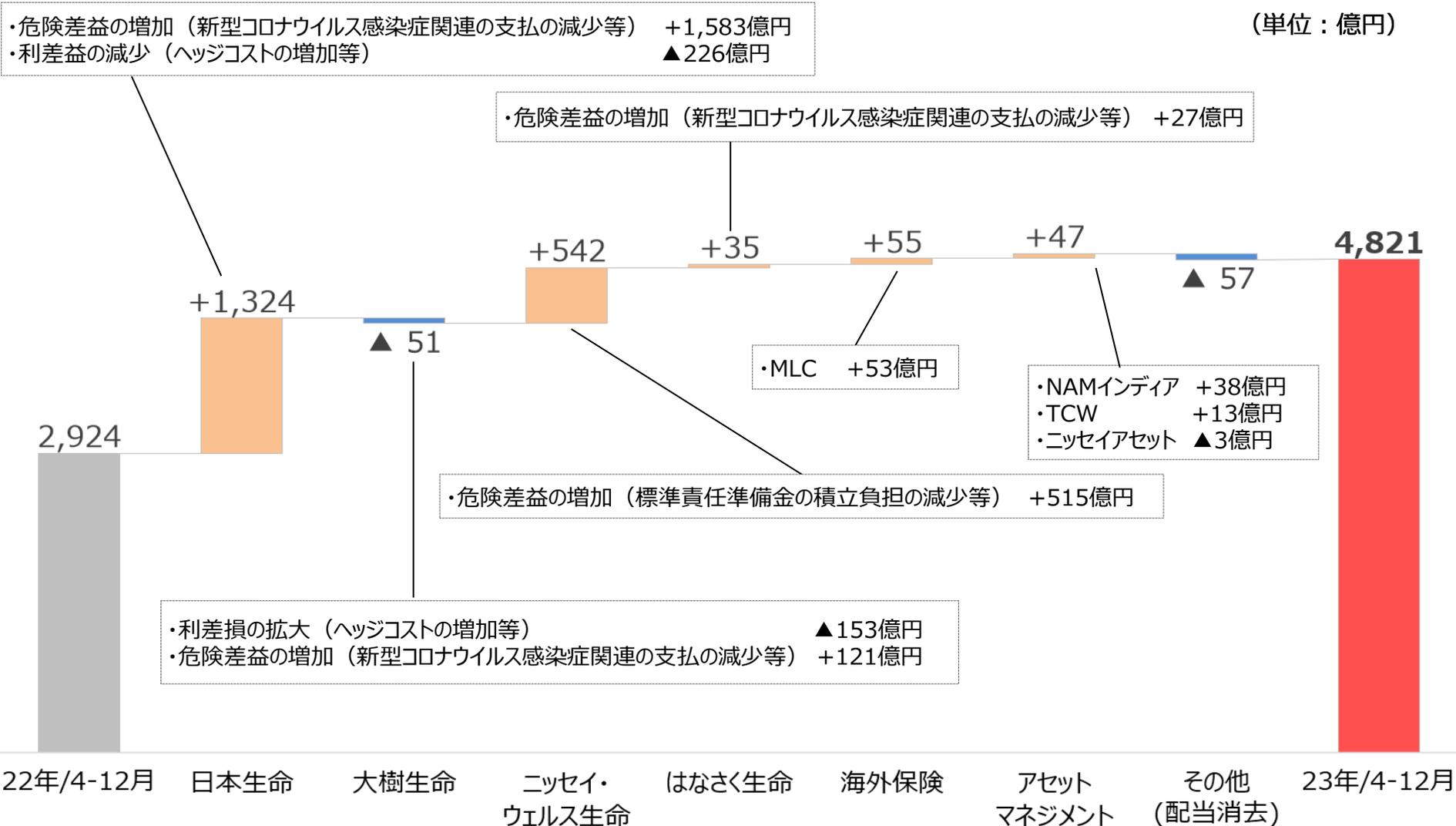
③ 保険料等収入

(単位：億円)



※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出）

④ 基礎利益

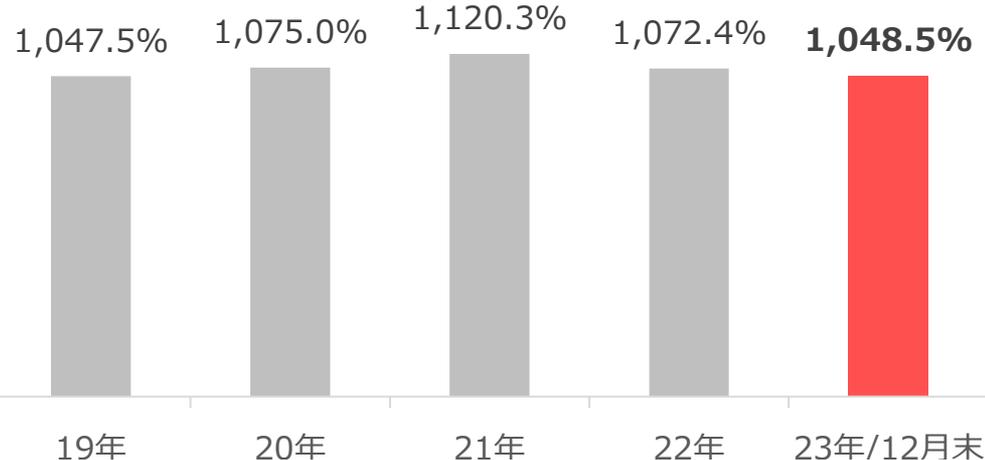


※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出
 ※ 【会社名称】 ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント、NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント
 ※ MLCの数値は、当年度・前年度ともに新会計基準適用数値

⑤ 健全性

- ソルベンシー・マージン比率は、金利上昇に伴い、前年度末比で低下。
- 実質純資産は、国内株価上昇に伴い、前年度末比で増加。
- 経済価値ベースのソルベンシー比率(ESR*)は23年12月末時点で約242%(概算)。
* リスク量に対する資本の十分性を示す健全性指標。当社の内部モデルにて算出。

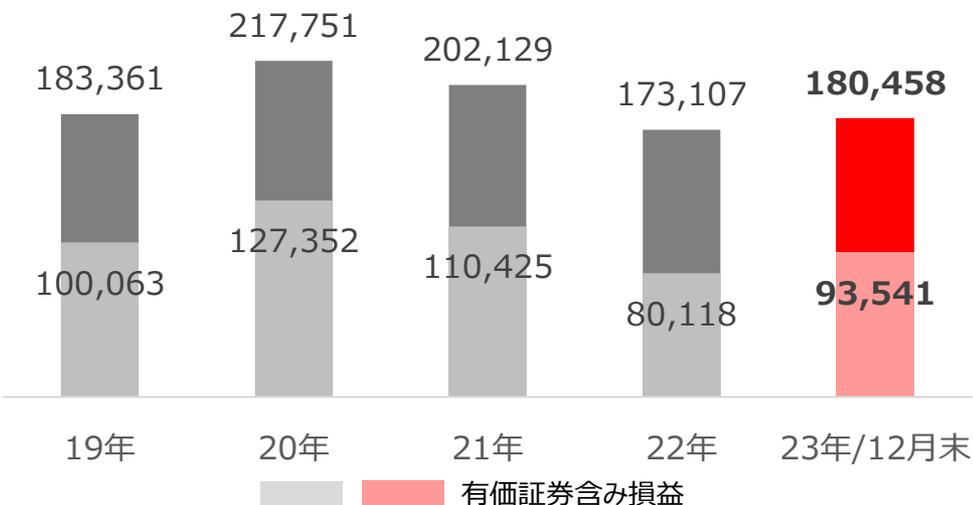
ソルベンシー・マージン比率



※ 23年12月末・22年度末ともに、MLCの数値は新会計基準適用数値

実質純資産

(単位：億円)



※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出
※ 23年12月末・22年度末ともに、MLCの数値は新会計基準適用数値

⑥ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益は、前年同期比で増加。
- 四半期純剰余は、前年同期比で増加。

(単位：億円)

	2023年 4-12月	前年同期比
経常収益	87,038	+23.8%
保険料等収入	64,331	+39.5%
資産運用収益	20,836	▲7.1%
経常費用	84,123	+21.1%
保険金等支払金	48,034	+18.3%
資産運用費用	7,761	▲29.6%
事業費	5,913	+4.6%
経常利益	2,914	+247.2%
特別損益	▲506	▲1,535.3%
四半期純剰余(利益)	1,915	+152.3%

貸借対照表

- 総資産・負債は、前年度末比で増加。
- 純資産は、前年度末比で増加。

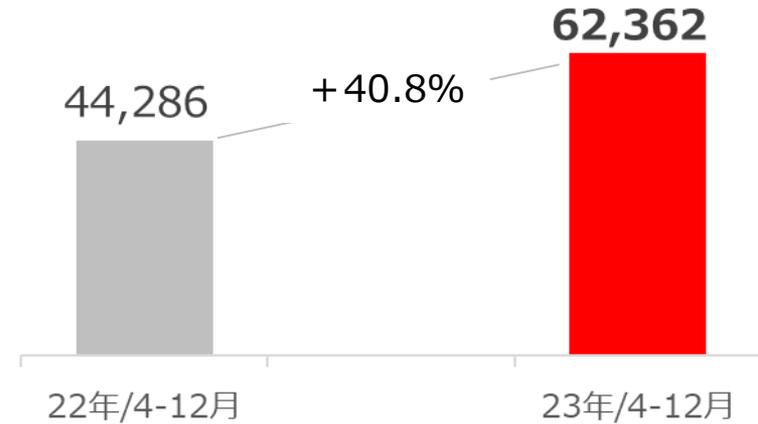
(単位：億円)

	2023年 12月末	前年度末比
総資産	935,468	+6.8%
うち有価証券	776,231	+7.3%
うち貸付金	88,770	+2.8%
うち有形固定資産	18,760	+0.9%
負債	852,101	+5.6%
うち保険契約準備金	735,462	+2.9%
うち責任準備金	721,119	+2.8%
うち価格変動準備金	17,265	+2.5%
純資産	83,366	+20.0%

① 保険料等収入

- 金融機関窓販チャネルおよび営業職員チャネルの増加を主因に増収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）


	2023年 4-12月	前年同期比
保険料等収入（国内計）	62,362	+40.8%
うち個人保険・個人年金保険	42,345	+34.3%
営業職員チャネル	25,132	+20.9%
代理店チャネル	4,652	+17.4%
金融機関窓販チャネル	12,559	+85.2%
うち団体保険	2,129	+1.9%
うち団体年金保険	7,789	▲6.1%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険の合計値

※ 当年度から、「銀行窓販チャネル」を「金融機関窓販チャネル」に変更

② 新契約

- 個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料・保障額等は増加、件数は減少。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料*		件数		保障額等	
	2023年 4-12月	前年同期比	2023年 4-12月	前年同期比	2023年 4-12月	前年同期比
国内計	3,921	+35.7%	304	▲13.1%	63,504	+6.5%
営業職員チャンネル	1,418	+13.9%	265	▲17.4%	33,364	▲9.6%
代理店チャンネル	598	+10.5%	21	+16.5%	16,000	+9.6%
金融機関窓販チャンネル	1,897	+72.5%	15	+59.6%	13,884	+73.7%
日本生命	1,866	+13.0%	267	▲16.8%	37,778	▲8.7%
大樹生命	317	+18.8%	12	+10.7%	6,563	+11.3%
ニッセイ・ウェルス生命	1,648	+84.1%	9	+78.7%	10,814	+93.6%
はなさく生命	88	+16.7%	14	+23.2%	8,347	+23.6%

* 海外含みの新契約年換算保険料は約3,980億円（概算）

③ 保有契約

- 個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料は増加、件数は横ばい、保障額等は減少。
- 団体保険は横ばい、団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険	年換算保険料*		件数		保障額等	
	2023年 12月末	前年度末比	2023年 12月末	前年度末比	2023年 12月末	前年度末比
国内計	47,112	+2.5%	3,844	+0.2%	1,692,708	▲1.2%
日本生命	37,389	▲0.1%	3,489	▲0.3%	1,456,357	▲2.4%
大樹生命	5,156	+1.8%	253	▲0.7%	162,320	▲1.9%
ニッセイ・ウェルス生命	4,252	+32.2%	50	+20.5%	49,889	+26.1%
はなさく生命	313	+28.6%	51	+30.8%	24,141	+42.4%

* 海外含みの保有年換算保険料は約4.94兆円（概算）

団体保険・団体年金保険	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2023年 12月末	前年度末比	2023年 12月末	前年度末比
国内計	1,083,458	▲0.2%	195,375	+4.9%
日本生命	974,270	▲0.1%	140,222	▲0.5%
大樹生命	109,187	▲1.3%	5,903	▲10.8%

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高（39,801億円）、確定拠出年金の投資信託（日本生命販社分9,435億円）を含む

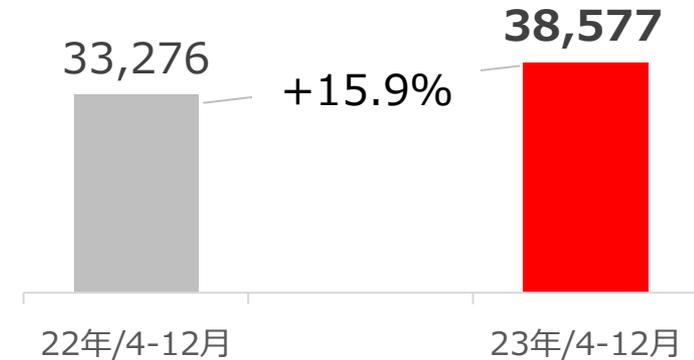
【参考】
グループ各社の概況

【参考】 日本生命（単体）：収支

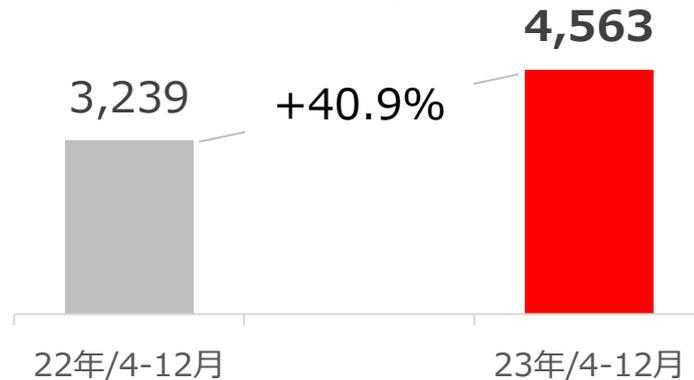
- 日本生命単体は、前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、営業職員チャネルの円建終身保険の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、ヘッジコストの増加等により利差益が減少となった一方、新型コロナウイルス感染症に係る給付金支払の減少等による危険差益の増加を主因に増益。

保険料等収入

（単位：億円）



基礎利益



	2023年 4-12月	前年同期比
基礎利益	4,563	+40.9%
利差益	1,499	▲13.1%
費差益	308	▲9.8%
危険差益	2,755	+135.1%

【参考】 日本生命（単体）：資産運用

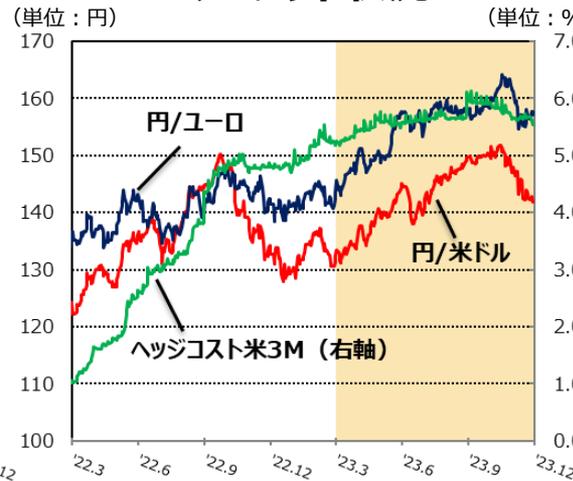
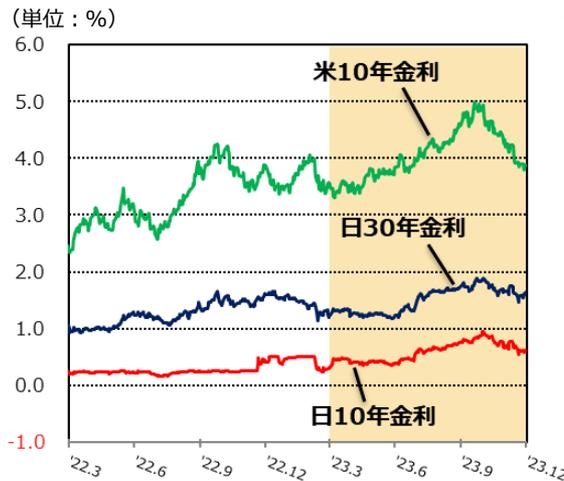
- 資産運用収支は、前年同期比で減少。
- 資産運用収益は、有価証券売却益の減少を主因に減少。
- 資産運用費用は、金融派生商品費用が増加となった一方、有価証券売却損の減少を主因に減少。

資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

	2023年 4-12月	前年同期比
資産運用収益	14,796	▲4,658
うち利息及び配当金等収入	11,381	+172
うち有価証券売却益	2,513	▲5,357
うち為替差益	857	+490
資産運用費用	5,967	▲2,753
うち有価証券売却損	2,687	▲3,929
うち有価証券評価損	47	▲116
うち金融派生商品費用	2,306	+1,281
資産運用収支	8,829	▲1,905

※ 当年度から一部の会計処理を大樹生命との統一を目的に変更しており、前年同期比については遡及修正後の数値を記載

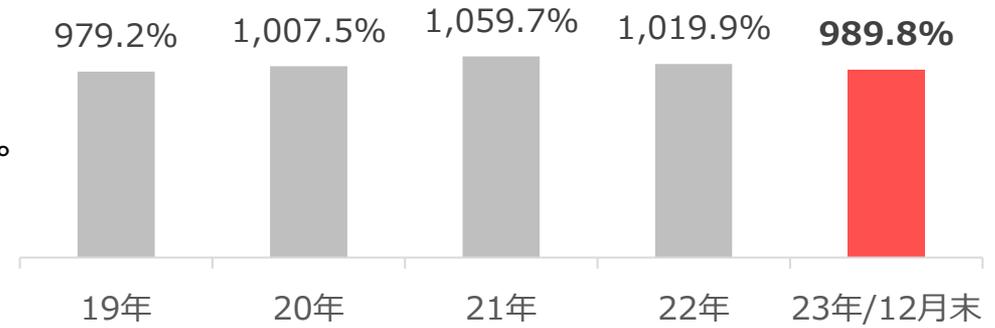
マーケット状況



【参考】 日本生命（単体）：健全性

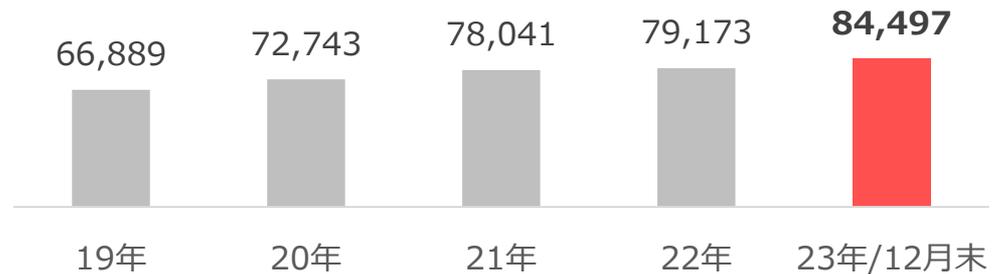
- ソルベンシー・マージン比率は、金利上昇の影響により、前年度末比で低下。
- 有価証券の含み益は、国内株価の上昇により、前年度末比で増加。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

(単位：億円)

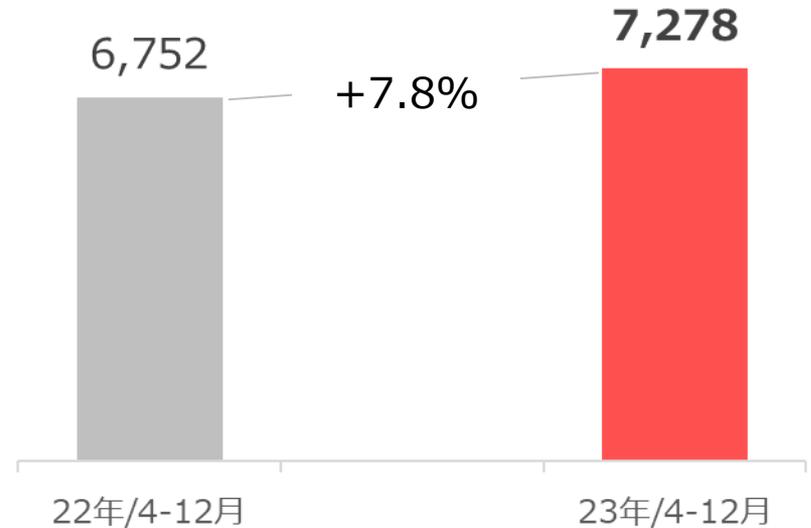
	2023年 12月末	前年度末比
有価証券	94,099	+13,345
公社債	▲ 6,500	▲ 14,013
国内株式	73,113	+16,958
外国証券	27,431	+10,177
その他	54	+222

※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

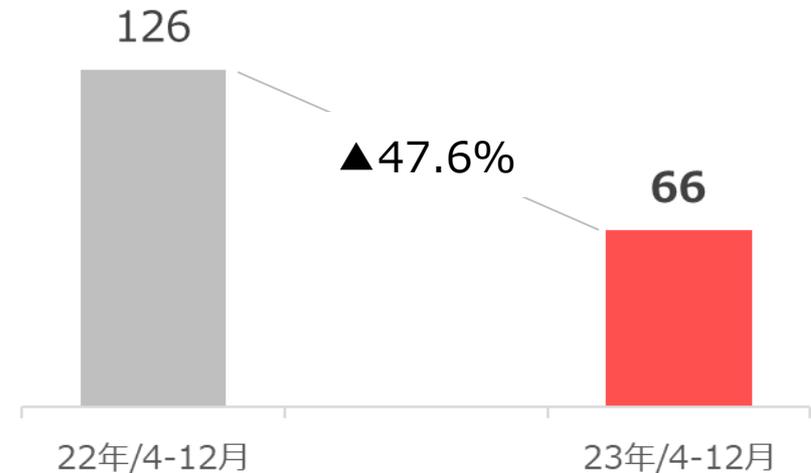
【参考】 大樹生命

- 前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、外貨建一時払商品の販売増および再保険収入増加を主因に増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払減により危険差益が増加した一方、ヘッジコストの増加による利差損の拡大等により減益。

保険料等収入 (単位：億円)



基礎利益



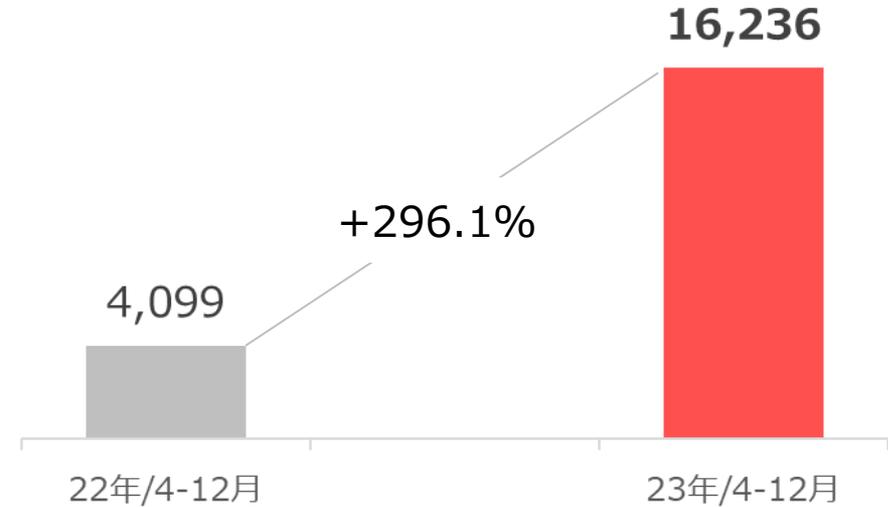
※ 単体の数値を記載

【参考】ニッセイ・ウェルス生命

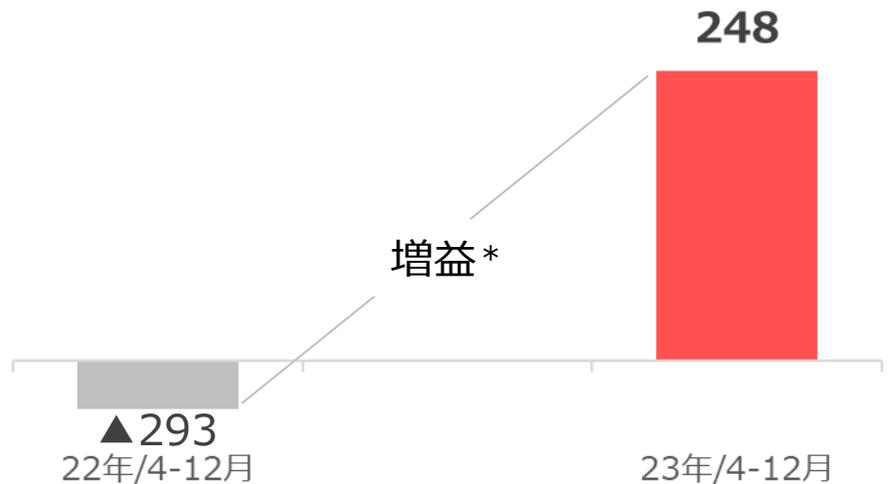
- 前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、外貨建・円建一時払商品の販売増および再保険収入増加を主因に増収。
- 基礎利益は、標準責任準備金の積立負担減少による危険差益の増加により増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益

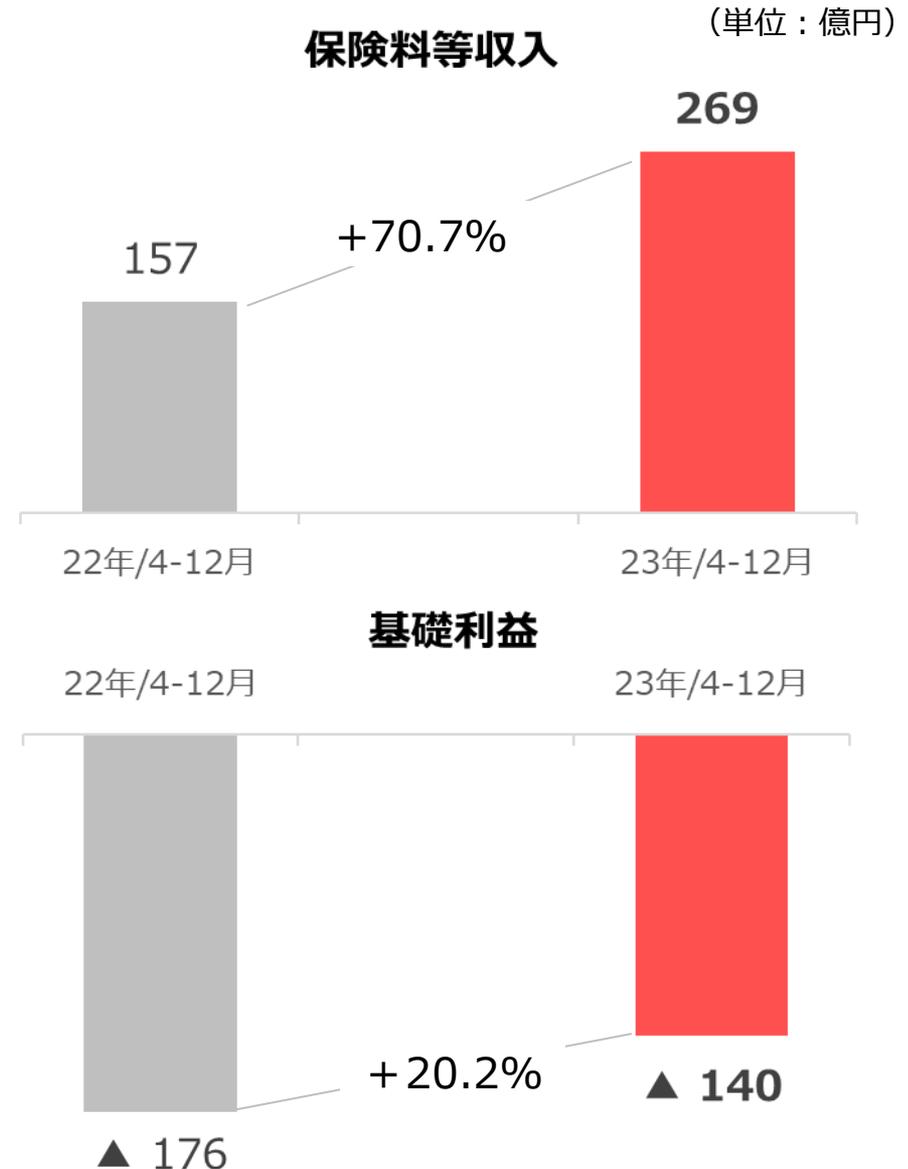


※ 単体の数値を記載

* 当年度と比較対象年度の数値が異符号のため、増減率算出不可

【参考】 はなさく生命

- 前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、医療保険等の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増の一方、新型コロナウイルス感染症関連の支払減による危険差益の増加を主因に増益。



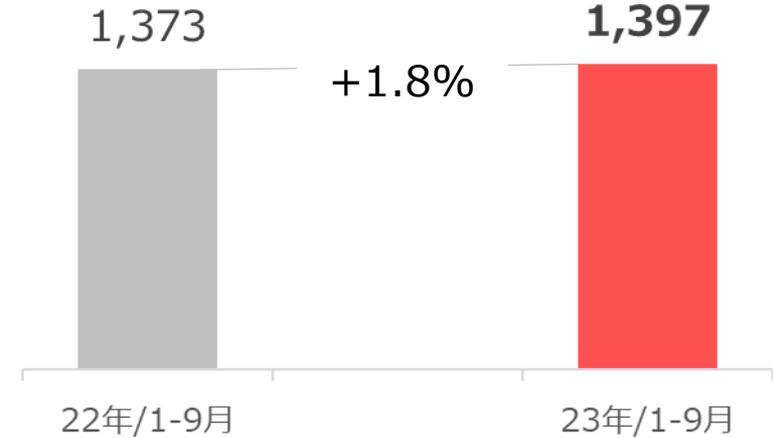
※ 単体の数値を記載

【参考】 MLC

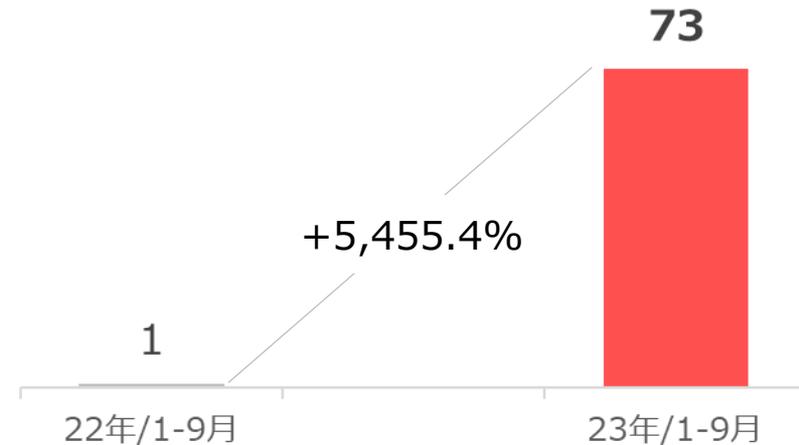
- 対22年1-9月で増収・増益。
- 収入保険料は、保険料の引き上げを主因に増収。
- 基礎利益は、団体保険領域における収支改善等により増益。

収入保険料

(単位：百万豪ドル)



基礎利益



※ 単体の数値を記載

※ 第3四半期決算では1-9月期を連結反映

※ 収入保険料は、日本会計基準に基づいた実収ベース（旧会計基準）で表示